

能代市総合計画市民協働会議提案

20年度に策定された能代市総合計画はスタートから3年が経過し、まちづくりの進捗状況についての市民協働会議での評価、提案は21年度に続いて今回が2回目となります。

21年度の会議では、検討過程の中で他の政策分野に優先する課題として、①産業の創出や雇用の確保などの総合的な取り組み、②市民・団体・行政の連携と結束、それを促進できる仕組みづくりと人材育成、③生活の質の向上を目指して地域に根ざした取り組みを行うこと、などが重要な視点として指摘されました。

今回は、こうした指摘も含め、前回の評価と提案を参考にしながら、活動実態の点検を始めとし、政策ごとの目標指標をもとにまちづくりの進捗状況の評価するとともに、その評価を踏まえて改善に結びつく望ましい取り組み、まちづくりの提案の検討を行いました。

近年の厳しい社会経済情勢の中で、依然として産業創出や雇用確保などの総合的な取り組みが最重要課題であるとともに、市民、団体、事業者、行政などのさまざまな主体が知恵と工夫を出し合って、まちづくりを協働で進めていく必要があります。殊に、若者の豊かな発想力や感性、行動力が、地域の夢や希望、誇りなどを生み出す源泉になるものと思われまます。また、3月11日の東日本大震災という未曾有の災害を経験した今日、単に防災面だけでなく、あらゆる面で多様な主体の活動、人と人との絆が改めて求められているものと考えます。

前回の評価との比較では、改善されたものや逆に不調となったものなど、各政策分野で違いがあるほか、計画策定時からの変化を考えた場合、政策の進捗状況を判断する指標そのものが適切かどうかとの議論もあった中で、今後、力を入れて取り組むべきものとして、次の各項目があげられました。

【基本目標1 輝きとぬくもりのまち】

子どもの育成支援のために、保護者も含め同世代、世代間交流が必要であり、その機会や場をさらに広げる必要があること。超高齢社会への対応として高齢者が互いに支えあう地域とするためのシステムづくりの研究、検討が必要であること。地域への誇りを高めるために、ふるさとの歴史・文化を再認識し、それを継承していくための施策を推進すること。

また、平均寿命やがん死亡率、自殺率等に関し多くの課題を持つ現状においては、能代市民による「がん撲滅運動」（仮称）の推進や、地域医療体制の再構築、在宅介護を推進するための仕組みを作ることに、更に積極的な取り組みが求められること。（基本目標3と重複）

【基本目標2 元気とうるおいのまち】

農業、林業は地域の基幹産業であるが、農業におけるいわゆる第6次産業化や農・商・工連携な

どの新たな取り組みや林業における木材という地域資源を生かすための先進的取り組みが求められること。本市の多様な観光資源とイベントを組み合わせた取り組みにより、経済効果も含め地域の活性化を図ること。特に、各種新エネルギーの導入・集積を図り、関連事業の先進地化も含め、産業創出や雇用確保に取り組むこと。

【基本目標3 安全と安心のまち】

東日本大震災を踏まえ、小・中学校での防災教育実施を始め災害時の避難対策など、災害への備えに万全を期すべきこと。行財政基盤の安定化のために、さらに市民・団体等との連携や結束、それを促進できる仕組みづくりと人材育成を図るとともに、目先を変えた大胆な手法を模索すること。

以上が、各政策の中で力を入れて取り組むべきものとしてあげられたものですが、一連の検討の中で、能代市のまちづくりの指針である能代市総合計画をより積極的に推進するためには、民間の活力を高める必要があり、行政がマンパワーも含めてできる限りのサービスを市民に提供することはもちろんのこと、市民一人ひとり、各種の事業者・団体など、それぞれがまちづくりの主役であるとの意識を持って行動すること、そしてその思いをできるだけ多くの市民が共有できるようにすることが重要であるとの意見が聞かれました。これらを実行することにより、このまちに生まれ、このまちで育ち、そしてこのまちで暮らして幸福を感じられるような、生活感にあふれる能代市が実現されるのではないかと考えます。

また、私たちは、高齢化の進展をマイナスに捉えるのではなく、「私たちの住むこの地域は、日本の、あるいは世界の最先端として、超高齢社会のあるべき姿を創造していくモデル地域である」とプラスに位置づけ、積極的に取り組み、若者も高齢者も、健常者も障がい者も、互いに支え合う地域づくりが求められています。

最後に、点検評価する組織としての市民協働会議のあり方についても再検討すべきであるとの意見が出されたことも付記します。

以上を踏まえ、能代市総合計画に掲げた将来像“わ”のまち 能代 の実現に向けて、まちづくり評価書及び提案書を別添のようにとりまとめましたので、提案いたします。

平成23年11月10日

能代市長 齊藤 滋 宣 様

能代市総合計画市民協働会議

委員長 柴田 寛彦

能代市総合計画市民協働会議委員名簿

	氏名	備考	
輝きとぬくもりのまち分科会	A班	相沢 敏子	
		楠 清孝	
		小林 寛	
		金野 優作	A班サブリーダー
		佐藤 幸樹	
		田村 豊	
		松井 均	輝きとぬくもりのまち分科会長、A班リーダー
	B班	越中 武美	B班サブリーダー
		大槻 幸子	
		小林 アサ子	
		小林 勝平	輝きとぬくもりのまち副分科会長、B班リーダー
		柴田 寛彦	委員長
	C班	松岡 亮	
		小笠原 光	
坂本 明子		C班サブリーダー	
鳴田 節子			
鈴木 敬一		輝きとぬくもりのまち副分科会長、C班リーダー	
戸松 正之			
中村 勇			
元気とうるおいのまち分科会	D班	松橋 博	
		飯坂 秀子	
		櫻庭 富男	D班サブリーダー
		佐藤 浩美	
		佐藤 善典	
		鈴木 伸樹	
		宮腰 慶聡	元気とうるおいのまち分科会長、D班リーダー
	吉田 一幸		
	E班	牛丸 武久	元気とうるおいのまち副分科会長、E班リーダー
		金谷 正子	
		幸坂 伯文	
		田中 恵里	E班サブリーダー
		照井 勉	
		七尾 昌樹	
西村 省一			
安全と安心のまち分科会	F班	小栗 将子	
		勝原 節子	F班サブリーダー
		浜松 幹生	
		村上 修	
		山崎 昌子	安全と安心のまち副分科会長、F班リーダー
	G班	安部 美恵子	副委員長
		中村 浩三	安全と安心のまち分科会長、G班リーダー
		藤原 斉	
		舂屋 修美	
		渡部 英敏	G班サブリーダー

【グループ（班）の担当政策】

A班	地域づくり、生涯学習、子育て・子ども支援、学校教育
B班	健康づくり、高齢者、障害者
C班	文化・芸術、スポーツ、社会づくり
D班	産業創出、企業立地、農業、林業・木材産業・水産業
E班	商業、観光、環境保全、衛生環境
F班	防災・防犯体制、道路・交通ネットワーク、土地利活用、住環境
G班	医療体制、社会保障制度、行財政基盤